

2012年6月20日

各 位

DAIKYO 大京グループ

大京と日本大学理工学部建築学科の共同プロジェクト パッシブ手法による居住環境性能の見える化・数値化の検証開始 ～ ライオンズたまプラーザ美しが丘テラス ～

株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：山口陽）と日本大学理工学部建築学科および日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科吉野研究室は、換気機能付き玄関扉やグリーンカーテン・ドライミストなどマンション内におけるパッシブ手法の導入効果について、工学的な検証を開始しました。

本検証で得られたデータを基に、パッシブ手法に関する室内環境の快適性評価に関する研究を深めていくとともに、大京が取り組んできたパッシブ手法の効果を見える化・数値化することで、お客さまへの訴求効果を高めていくことを目的としています。

これに先駆けて、「ライオンズたまプラーザ美しが丘テラス」（横浜市青葉区、総戸数 79 戸・2011年3月竣工）において、6月10日（日）「グリーンカーテンセミナー」を開催し、25世帯・約60名の居住者の方々が参加され、盛況な内容となりました。

今回のセミナーを開催した「ライオンズたまプラーザ美しが丘テラス」は、首都圏で初めて各住戸への電力供給を可能にした太陽光発電システムを搭載したマンションで、また、自然の力を利用する「パッシブデザイン※」を推進し、中庭にミスト散布装置や各戸に換気機能付き玄関ドア等を導入しています。暮らしの快適性を高めながらエコロジーに貢献できる省エネスタイルの住宅を提案し、横浜市の建築環境総合性能評価システム「CASBEE 横浜」でも「Aランク」の評価基準を満たしたマンションです。

※パッシブとは、passive（受動的）の語のとおり、機械設備に頼ることなく太陽光や風など自然エネルギーを利用し室内環境を快適にする建築上の概念です。

1. グリーンカーテンセミナー

「グリーンカーテンセミナー」は、日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科の吉野泰子教授より、①パッシブな暮らし方について ②グリーンカーテンの作り方についての説明があり、参加者各自によるゴーヤの苗植え作業が行われました。作業終了後には、「ゴーヤ」の苗を植えたプランターを各お部屋にお届けし、各参加者は、ベランダにある備え付けフックを利用してネットを設置し、グリーンカーテンの設置が終了しました。

今回、参加者が設置した「ゴーヤ」は来月（7月）には立派な「グリーンカーテン」になる予定です。

<グリーンカーテンセミナーの概要>

- 開催日：2012年6月10日（日）10:30～12:00
- 場 所：「ライオンズたまプラーザ美しが丘テラス」エントランスホール内
- 主 催：株式会社大京
日本大学理工学部建築学科および日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科吉野研究室
- 内 容：グリーンカーテンセミナー
※グリーンカーテンを広めことを目的とし、当セミナーでは、グリーンカーテンの育て方、導入効果についてをご紹介します。
※参加者の方には、グリーンカーテンの材料（プランター、土、肥料、ネットなど）をプレゼント。

<グリーンカーテンセミナーの様子>



セミナー風景



プランターに「ゴーヤ」の苗を植える作業



参加者のプランターに植えた「ゴーヤ」



セミナー講師をつとめる吉野泰子教授

2. 居住環境性能調査について

当社と日本大学理工学部建築学科および日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科吉野研究室は、「ライオンズたまプラーザ美しが丘テラス」の居住者の中から約 10 世帯の方にご協力をいただき、本年 11 月下旬頃までの約 5 カ月間、「グリーンカーテン」導入による涼房効果を検証するなど、パッシブ手法（換気機能付き玄関扉やドライミストなどマンション内における環境技術）による室内環境の快適性評価を工学的に検証するための「居住環境性能調査」を行います。

なお、本調査の結果は、調査協力していただいた居住者の方々等にフィードバックしたいと考えております。

<居住環境性能調査の概要>

1. 調査目的：「ライオンズたまプラーザ美しが丘テラス」において、「グリーンカーテン」導入による涼房効果を検証するなど、パッシブ手法に関する室内環境の快適性評価に関する研究を深めていくとともに、パッシブ手法の効果を見える化・数値化することで、お客さまへの訴求効果を高めていくことを目的としています。
2. 調査期間：2012 年 6 月下旬～2012 年 11 月下旬（予定）
3. 検証期間：2013 年 3 月下旬まで（予定）
4. 調査機関：日本大学理工学部建築学科および日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科吉野研究室
5. 調査対象物：「ライオンズたまプラーザ美しが丘テラス」
6. 調査内容と方法：
 - (1) 調査対象住宅の基本特性および居住環境の意識調査
 - (2) 屋内外の温熱環境調査
 - (3) 室内の空気環境調査
 - (4) 屋内外の光・音環境調査
 - (5) 屋外紫外線強度と日射量調査
 - (6) 居住環境意識とエネルギー消費に関するアンケート調査

<調査の具体的な方法>

- ① 住戸内に風・温熱環境等を測定する機器を設置し、計測を行います。
- ② 居住者の方のライフスタイルなどを把握するために、居住環境意識とエネルギー消費に関するヒアリング・アンケートを行います。
- ③ 冷暖房・給湯・照明・家電製品などの住宅内におけるエネルギー消費量を調査し、1人当たりのエネルギー使用状況を分析します。(Me-eco システム)
- ④ グリーンカーテンを設置している住戸と設置していない住戸の居住環境の比較調査を行います。

■測定機器の例 (※現場の状況により変更することもあります)



温湿度計



CO濃度計



CO₂濃度計



VOC測定器



ホルムアルデヒド測定器



3次元超音波風速計



照度計



騒音計



紫外放射計



日射計

■「ライオンズたまプラーザ美しが丘テラス」の物件概要

- ・所在地：神奈川県横浜市青葉区美しが丘四丁目9番1
- ・構造・規模：鉄筋コンクリート造、地上7階建、共同住宅
- ・総戸数：79戸(住居)
- ・竣工日：2011年3月22日



左は中庭、右上は太陽光発電システム、右下は建物外観

◆このニュースリリースに関するお問い合わせ先◆

株式会社大京 広報・IR室 (伊奈・丸山) TEL: 03-3475-3802